

平成25年度予算見積調書

課室名：河川砂防課
 担当名：新河岸川・荒川下流域担当
 内線：5144 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B302	まちなかポケットダムづくり推進費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	雨水貯留施設整備推進費	
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし	戦略項目		05	大規模災害への備え		
				分野施策		010503	治水・治山対策の推進		
1 事業の概要 現在、総合治水対策の中の流域対策として行われている、校庭貯留、公園貯留及び既存の住宅に浸透枳を設置する各戸貯留による貯留・浸透対策に、新たなメニューとして、公共下水道への接続により不要となる『浄化槽を転用した浸透貯留槽』の設置を加えることにより、保水機能の強化と浸水被害を軽減する。 雨水浸透施設等工事費 24,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 総合治水対策の中の流域対策を実施している新河岸流域において事業を行う 雨水浸透施設等工事費 24,000千円 不要となる浄化槽を転用し浸透貯留槽として活用等、雨水浸透施設の設置 (2) 事業計画 ア 平成25年度 300個 対策を実施 24,000千円 イ 平成26年度 300個 対策を実施 24,000千円 ウ 平成27年度 400個 対策を実施 33,000千円 (3) 事業効果 不要となる浄化槽を転用し浸透貯留槽として活用する等、雨水浸透施設の設置で流域における保水機能を強化し、台風やゲリラ豪雨等による浸水被害を軽減する 3カ年で1,000個の対策を実施することにより、保水機能が3,000m ³ (25mプール約10杯分)程度向上する (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村の下水道管理者と連携し、公共下水道への接続により不要となる浄化槽の調査を実施する 県民と連携し、既存住宅において浸透貯留槽への転用工事を実施する等の雨水浸透施設の設置を行う					
2 事業主体及び負担区分 (国1/3・県2/3)									
3 地方財政措置の状況 河川事業債 (一般公共事業債) 充当率 概ね90%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額		国庫支出金	県 債						
決定額	24,000	8,000	16,000					0 24,000	
前年額	0							0	